インテルステノ

INTERSTENO

国際情報処理連盟

international federation for information processing

フルレンジのスピード筆記法によって高品質の文書を迅速に作成する者の世界的なコミュニティ

インテルステノとは

「**インテルステノ**」は国際情報処理連盟のトレードマークです。
私たちは、1887 年ロンドンにおいて創立した非営利団体で、第二次世界大戦後、スイスのマルセル・ラシーヌが再建しました。
「**インテルステノ**」は、専門職業人として働いている人々、その活動領域において将来専門職業人になろうとして学び、関心を持っている人たちすべてに世界的な“フォーラム”を提供することがねらいです。
活動領域は、●『**リポーティング**』(いわゆる速記):話された言葉をとらえるすべての環境、いろいろな技能と技術、それらをさまざまな様式でさまざまなカテゴリーの人たちに提供するもの
●『**テキスト、情報処理**』:文章や文章に関連するデータをコミュニケーションのために処理するもの
●『**秘書・事務局**』:秘書的機能に必要とされる専門職業技能者
会則に連盟の目的が示されている。
(1)世界チャンピオン、その他その活動領域における世界競技の開催
(2)連盟活動の領域に従事する世界の職業家の連帯
(3)最適手段によって会則 2.5 にあるように、会員の業務、競争力の標準を高度に維持し、高めること
(4)新技術の普及を促進するための適当な技術調査、それらは連盟会員が提供するサービスを強化するのに役立つこと
(5)各国政府、自治体、ＮＧＯ、あるいは UNESCO など、公的、私的な国際機関との協力
(6)活動領域に関する情報の収集と提供。それは地方自治体、公共研究機関、民間会社などと連携している会員の専門職業的経験に関する情報を含む
(7)会議や大会を組織すること
(8)活動領域における先進共同研究
(9)会員の専門職業利益の保護

インテルステノは、世界の会員間の理解、思索を深め、それぞれの地域の活動に関して、その文化と価値を相互に理解し、相互に啓発する機関です。

120 年の歴史

1887 年 9 月 26 日、ロンドンのジオロジカルミュージアムの大ホールにおいてインテルステノの第 1 回会議が開かれました。サー・ジョン・ウエストビーの発案で実現した会議は、近代速記 300 年を記念したもので、400 名の参加者が 1 週間にわたり議会、法廷における速記の議題について議論しました。その成果は教育に生かされ、女性社会に影響を与えました。会議の記録には、行われた講演や議論の発言が含まれましたが、惜しいことに写真はありません。

その年、マルコニーによって無線通信が発明され、電話はまだ不思議なものでした、自動車の設計者は最初の一歩を踏み、タイプライターはまだ手づくりの段階で、それで書くことは怪しげで奇妙に見えました。有能な速記者は議会の議論を確かな記録とし、新聞社が電信網を通じてそれを受け取って、ニューズ配信の基本的な情報源となって、市民へ新聞を通じて報道するようになりました。

この第 1 回会議において、開会の講演を通じて、会議は 1 回限りの行事ではなく、長い伝統の出発点となりました。報告にはごちそうやワインを振る舞われたとは書かれていませんが、明確にその目標に向かって一致し、その議決は今日まで続く伝統の始まりでした。

Congresses since 1887

- 1887 London
- 1889 Paris I
- 1890 Munich
- 1891 Berlin
- 1893 Chicago
- 1897 Stockholm
- 1900 Paris II
- 1905 Brussels
- 1908 Darmstadt
- 1912 Madrid
- 1913 Budapest I
- 1920 Strasbourg
- 1922 Dresden I
- 1924 Lausanne I
- 1926 Milano I
- 1927 Brussels II
- 1928 Budapest II
- 1931 Paris III
- 1934 Amsterdam I
- 1937 London II
- 1955 Monaco
- 1957 Milano II
- 1959 Wien
- 1961 Wiesbaden
- 1963 Praha
- 1965 Paris IV
- 1967 Berne
- 1969 Warsaw
- 1971 Brussels III
- 1973 Valencia
- 1975 Budapest III
- 1977 Rotterdam
- 1979 Belgrade
- 1981 Mannheim
- 1983 Luzern
- 1985 Sofia
- 1987 Firenze
- 1989 Dresden II
- 1991 Brussels IV
- 1993 Istanbul
- 1995 Amsterdam II
- 1998 Lausanne II
- 2001 Hannover
- 2003 Roma
- 2005 Wien II
- 2007 Praha II
- 2009 Beijing (Peking)
- 2011 Paris V

President	Gian Paolo Trivulzio (Italy)
Vice President	Jaroslav Zaviačič (Czech Republic)
Secretary-Treasurer	Danny Devriendt (Belgium)
Jury President	Georgette Sante (Belgium)
Scientific Committee	Prof. Dr. Boris Neubauer (Germany)
Member	Mark Golden (USA)
Member	Rian Schwarz-van Poppel (The Netherlands)

評議会

評議会は、各国代表と役員から構成されます。評議会は、役員会の政策を決定し、修正が必要なときには承認します。評議会は少なくとも年１回開催します。

科学・教育委員会

科学・教育委員会の委員は、連盟の活動領域における科学技術開発を発展させます。この委員会の委員はそれぞれ異なる研究分野を代表し文化、科学的提案を行います。委員はその専門分野から実際の議論に大切な貢献を行います。

教育委員会　唐可亮(中国)

戦略的な視点から、教育は重要な要素であることから、2010 年中国の提案により、本委員会が設置されました。委員は各国最低 2 名で、委員長の緊密な連携によって活動は調整されます。インテルステノのイノベーションのための文化活動を普及させます。

IPRS　議会分科会

専門職業的なリポーティングは、数種類の高速筆記法による重要な活動であり、記録の発行が迅速かつ満足できるものでなければなりません。

リポーティングは今日、情報通信技術の発展に大きな影響を受けています。だから各人の経験が交換されなければなりませんし、新しい速記者の教育、訓練が再検討されなければなりません。

発足時から、IPRS はこの分野に多大の関心を払っており、その専門家が、逐語記録の作成や要約報告の作成のための議会会合や他の会合セッションでも作業してきました。役員のリアン・シュバルツーファン・ポッペル女史が特にこの分科会の活動に従事しています。

World wide presence

加盟国・代表者と e-mail

Countries and representatives

Argentine	Mr. Jorge Alberto Bravo (bravojorgea@hotmail.com)	CM
Australia	Mr. Adrian Kelly (voice@transcriptsplus.com.au)	
Austria	www.ostv.at Mr. Harald Liebhart (harald.liebhart@speeding.at)	CM
Belgium	www.intersteno.be Ms. Thérèse Librecht (therese.librecht@skynet.be)	CM
Bosnia	To be nominated	
Brazil	Prof. Waldir Cury (walcury@superig.com.br)	
Cameroon	Mr. Pius Onana (piusonana30@hotmail.com)	
China	www.intersteno.cn Mr. Tang Keliang (liaoqing41@163.com)	CM
Croatia	www.stenograf.hr Mr. Marica Piršlin (marica.pirslin@zg.htnet.hr)	CM
Czech Republic	www.interinfo.org Mr. Jaroslav Zaviačič (jaroslav@zav.cz)	CM
Germany	www.intersteno.de Ms Waltraut Dierks (w.dierks@t-online.de)	CM
Finland	Mr. Jari Niittuinperä (jari.niittuinpera@profitsoftware.com)	CM
France	Ms. Jacqueline Bertin-Mahieux - www.intersteno.fr (jacqueline.bertin-mahieux@banque-france.fr)	CM
Hungary	www.magyosz.hu Ms. Csilla Hegedüs (hicsilla@freemail.hu)	CM
Italy	www.intersteno.it Dr. Fausto Ramondelli (f.ramondelli@gmail.com)	CM
Japan	Mr. Tsuguo Kaneko (bxd06051@nifty.ne.jp)	CM
Korea	Mr. Lee Kyungsik (leeks@assembly.go.kr)	CM
Poland	www.interinfopolska.free.ngo.pl Ms. Teresa Wawrzynek (tepewaw@interia.pl)	CM
Russia	www.gzos.ru Ms. Nora Berezina (nora@gzos.ru)	
Switzerland	www.steno.ch Ms. Jeannette Luck (jeannetteluck@hotmail.com)	CM
Slovak Republik	Ms. Janka Borgulová (jborgulova@gmail.com)	CM
Spain	To be nominated	
The Netherlands	www.interinfo.nl Ms. Joke Bakker (joke.m.bakker@gmail.com)	CM
Turkey	www.interstenoturk.com Mr. Seckin Köse (seckinkose@superonline.com)	CM
USA	www.ncraonline.org Ms. Virgine Biggers (vkbiggers@cox.net)	CM

CM = *council member*

Our honorary presidents

名誉理事長

Austria	Ms. Marlis Kulb (Vienna)
Germany	Mr. Gregor Keller (Darmstadt)
Switzerland	Mr. William Bonnet (Vevey)
The Netherlands	Mr. Cees van Beurden (The Hague)
Turkey	Mr. İhsan Yener (Istanbul)

Our honorary chairman

名誉会長

China	Mr. Tang Keliang (Beijing)

Our honorary members

名誉会員

Italy	Ms. Marialuisa Corti (Milano)
Switzerland	Ms. Gabrielle Fasnacht (Lausanne)
Switzerland	Mr. Mauro Panzera (Cademario)

インテルステノ
競技と技能認証

多言語環境下では、多くの分野の専門家、教師が公平と調和を図るプロセスにおいて、時間と努力が大変かかるものです。このプロセスについては国際審判団を構築した専門家チームが継続的に監視しています。そのため、審判団は絶えず技術進歩に適応しなければなりません。そこには利便性の拡大や、さまざまな道具、方法の効率レベルが改善され、スピーチ・キャプチャーやテキスト入力（タイプライターからコンピューター、手書き速記から CAT 付ステノタイプ、音声認識）が用いられるようになってきています。複雑な順位判定や文書競技の結果の公平な文書化は次のような原則に基づいています。

☆競技速度は文字量（キーボードを使った競技）と音節量（スピーチ・キャプチャリング競技）で数えます。それによって、世界の言語ごとに異なるさまざまな「語」の定義づけによる速度計算の不一致を除きます。

☆幾つかの競技名が変更されてきました。（例えばタイプライティング競技→テキスト・プロダクション競技、速記競技→スピーチ・キャプチャリング競技）。その理由は、使用される方法よりも、達成結果に力点が置かれているからです。

☆このように絶えず変更してあらゆる技術が競技に参加できるように配慮してきました。規則は、ある技術、方法が、ほかのものより有利になったり、不利にならないようにしています。例えば選手たちが朗読をとらえて普通の文字に直す作業において、書きとめたものを解読するために長い時間が与えられています。

☆競技は幾つかの年齢に分類していますが、それによって競技の結果を容易に比較し、評価できるでしょう。賞は異なった技能レベルに与えられますが、世界のベストだけじゃなくて、あらゆるレベルの競技参加者はその人たちの強みを示すことができます。

競技方法は選手たちが初歩から徐々に階段を上がりながら技能が成熟するように、速度や正確度が改善されるように意図されています。

テキスト・プロダクション競技

印刷された課題文を 30 分間入力します。高精度（許容ミス率 0.25%以内）が特徴。コンピューター、ステノタイプ、キーボード、音声認識が参加できます。

テキスト・プロダクション：インターネットキーボーディング・チャンピオンシップ競技

2003 年以来、学校や学生団体の小学生から大学生までを対象に賞が与えられています。1,200 人以上が毎年参加しています。選手たちはコンピューター画面上から課題文を入力します。母国語のほか、15 カ国語まで参加できます。選手たちは指導教官のいる学校に在籍し、あるいは教師に登録されたインテルステノグループに属していることが必要です。無料の練習問題は 16 カ国語が http://www.intersteno.org にあります。

スピーチ・キャプチャリング競技

選手たちは徐々に加速される朗読を書き取り、反訳します。最初と最後の書き取り朗読速度は選手の言語によって決まります。その換算表はインテルステノ評議会で決められています。どんな技術（手書き速記、機械速記、キーボーディング、音声認識）を使用しても許されますが、ただし音声認識の選手は音声が漏れないようにステノマスク、つまりサイレンサーを使わなければなりません。

リアルタイム・スピーチ・キャプチャリング競技

選手たちは自分たちの技術を用い、8 分間の朗読は徐々に加速されます。反訳は、朗読終了と同時に字幕として提示しなければなりません。選手が朗読についていけない場合、書き取りを中止し、そのとき訂正はできません。反訳は最初の 3 分間がそれぞれのセクションの中で正確に行われているものが有効です。

プロフェッショナル・ワードプロセシング競技

この競技の目標は、ワープロソフトウエアを用いた専門技能的な方法で高い品質の文書を作成する能力を認証することにあります。課題文原本は英語で作成し、指示に基づいてそれぞれの言語に翻訳して与えられます。

テキスト・コレクション競技

選手たちは、ＵＳＢかペンドライブで受け取る課題文を基に、印刷された用紙に校正、訂正を行います。訂正は国際標準校正記号を使います。競技時間は 10 分間で、可能な限り多くの訂正を行います。

コレスポンデンス＆ミニット・テイキング競技

この競技は 2 つの過程から構成されています。第 1、選手は 2 つ目のテーマを紹介され、3 分間の手紙の朗読を逐語反訳します。第 2、要約文(議事録)を朗読された文書から 7 分間以内に完全な文章として表現します。120 分間がこれらの課題を完成するために許されます。

マルチリンガル競技

この競技は、少なくとも 2 カ国語、あるいは 1 つの外国語と母国語で行われる朗読を書き取ることを内容としています。それぞれの朗読は分速 120－130－140 音節の速度で 3 分間続きます。選手が望めば 18 カ国語まで受けることができます。

理事長	ジャン・パオロ・トリブルツィオ（イタリア）
副理事長	ジャロスラブ・ジャビアシック（チェコ）
事務局長・財務担当	ダニー・デフリーエント（ベルギー）
審判団長	ジョルジュ・サンテ(ベルギー)
科学委員会	ボリス・ノイバウア（ドイツ）
メンバー	マーク・ゴールデン(アメリカ)
メンバー	リャン・シュバルツーバン・ポッペル(オランダ)

賛助会員

個人、会社、協会、その他の機関、議会会議録サービス業で、本連盟の活動領域に関心があるものは賛助会員になることができます。

www.stenotype.it – e-mail: info@stenotype.it

ＮＶＲＡ（アメリカ）

ナショナル・バーベイティム・リポーターズ・アソーシエーションは非営利団体で、米国で音声入力による逐語記録を作成する専門家集団です。音声入力リポーターは、音声認識や関連技術を用いて発言からリアルタイムに作成します。http://www.nvra.org　　e-mail　nvra@nvra.org

ＧＺＯＳ（ロシア）

1941 年設立されたロシア唯一の速記訓練センターです。インテルステノの会員として速記、タイプライティング、ビジネス組織との情報交換を世界的に行うことを希望しています。速記、タイプライティング、ビジネスの教育、遠隔教育を行っています。http://www.intersteno.ru/eng/　　e-mail　gzos@mail.ru

アフリカンバーベイティムリポーター（カメルーン）

活動領域は、リポーティング、訓練、コンサルタントです。(責任者：ピウス・オナナ)

☆国連教育管理政策に基づいてアフリカにおけるリポーティングの普及とその文化を推進すること

☆新しい記録技術の普及を図ることや就業機会を満たすようにアフリカ人を訓練すること

☆記録活動において、議会、法廷、テレビ等での利用を支援すること

http://www.intersteno-afrique.org　　e-mail　piusonana30@hotmail.com

Scuola Galotta Potenza（イタリア）

情報科学の訓練コースなどで多くの技術開発を取り入れながら、ステノタイプ、音声認識を速記やキーボーディングに関連づけて教育してきています。1990 年から分校で裁判所や議会会議録作成の人材育成に努めてきています。学校の創始者、校長のテドロシオ・ガロッタ教授は 1965 年からインテルステノの参加者で、1995 年アムステルダム会議においてイタリア語におけるコンピューターキーボーディングの合理化に関する研究を報告しています。彼の指導した生徒たちがインテルステノ競技に参加しています。学校は第 44 回ローマ会議の支援を行いました。

http://www.scuolagalotta.it　　e-mail　scuola.galotta@memex.it

Stenotype Italia srl Sesto Fioretino(イタリア)

マルチェロ・メラーニ教授のイタリア語システムに従ってステノタイプの普及を主な目的として 1975 年設立されました。会社は速記機械の販売とその使用技術の教育のほか、学校や協会に対して訓練プログラムを支援しています。その人たちはイタリア国営公共テレビのネットワーク（RAI）の技術グループを支援しています。同社は、アルゼンチンやその他南米諸国でスペイン語やポルトガル語に応用したシステムで活動しています。ギリシャ語、ロシア語への応用は同様に利用できます。メラーニ教授は常にインテルステノ活動を支援し、幾つかのインテルステノ会議にも参加し、有益な競技のスポンサーとなっています。またローマ会議ではマネージンググループの一員として活動しました。

http://www.stenotype.it　　e-mail　info@stenotype.it

Word Technologies LLC（アメリカ）

エクリプスソフトウエアと呼ばれる速記機械用のソフトウエアを開発、販売しています。幾つかの外国語へも応用されています。代表者のダン・グラスマンはインテルステノ会議に長い期間参加しています。

http:///www.wordtechnologies.com　　e-mail　info@wordtechnologies.com

Stenographers Guild(インド)

1937 年、高速度のピットマン式速記法を訓練する活動をラマスワミが開始しました。毎日 600 人から 700 人の生徒が通っているそうです。速記者、新聞記者、警官、コールセンタースタッフなどを訓練しています。指導する速記は、米国から来たウォルター・キスラーがドイツ語・スイス方式から英語に応用した方式を採用しています。

http://www.stenold.org　　e-mail　　stenold@vsnl.com

Audioscribe Corporation(アメリカ)

1997 年創業。最初の製品、音声認識を用いたシステムは売れました。その後、スピーチ・ライターのためにすばらしい改善が行われてきました。顧客教育が同社の力を入れているところで、eーラーニングも誇りです。チャド・W・J・テリオットは CEO でチーフ・テクニカル・オフィサーです。テリオットは 1997 年、スピーチ CAT プロソフトウエアを開発しました。以来、20 年以上、設計、プログラミング、訓練に従事してきました。彼は講演、教育面で国内、海外へ赴き、リポーティングインダストリーのために音声認識の発展に力を尽くしています。　http://www.audioscribe.com　　e-mail　info@audioscribe.com

Ms.Marie-Paul Wagner(ルクセンブルク)

EC のオフィシャル刊行物事務所の著者サービスユニットの責任者の秘書です。一般的な援助のほか、彼女は通信連絡（速記の使用を含め）に従事しています。フランス語、ドイツ語、英語、スペイン語、イタリア語、スロバキア語が堪能です。キーボーディングも指導しています。　e-mail　wmariep@pt.lu

INTERSTENO International Federation for Information Processing
www.intersteno.org – e-mail: secretary@intersteno.org
INTERSTENO, Kapellestraat 124, BE-8020 Oostkamp, Belgium
INTERSTENO Bank Account
IBAN: BE53-0682-3189-0853 ▪ BIC: GKCCBEBB (Dexia Bank Brugge)

AAERT,Bothel(アメリカ)

電子・デジタル法廷リポーター、トランスクライバーの全国職業人組織です。彼らは、情報、ネットワーキング機会、特別なベストプラクティスガイドライン、関連訓練サービスなどを提供します。eーリポーター、eートランスクライバーの試験、技能認証が主な活動です。試験は全国で行われます。　http://www.aaert.org　　e-mail　aaert@aaert.org

Realtime STENOvations(カナダ)

法廷速記者向けのソフトウエア会社。デジタルＣＡＲＴソフトと設備を開発販売しています。

http://www.stenovations.com　　e-mail　support@stenovations.com

Mr.Richard Flament (アメリカ)

キャリア 31 年の速記者。そのうち 20 年間は欧州議会、EU で勤務し、プレスリリース、会議議事録の作成に当たってきました。

http://www.stenographie-en-ligne.com　　e-mail　stenographie@hotmail.com

Stenofac Inc Montreal(カナダ)

1997 年発足以来、技術の高さで定評のある速記会社。

http://www.stenographe.com　　e-mail　carmelle_rochon@yahoo.com

Ms.Lisa A.DiMonte(アメリカ)

32 年間、法廷速記、訴訟支援に従事してきた。Myleagal .com の CEO としてサイト運営の活動。

http://www.mylegal.com

Calabro Reporting Services LLC(アメリカ)

法廷速記全般、クローズド・キャプション、リアルタイム法廷速記をアリゾナ州チューソンで提供しています。全員が CAT を使用、1990 年からアリゾナ司法システムに従事しており、アリゾナ大学、テレビ局等において最新技術を提供しています。

http://www.calabroreporting.com　　e-mail　admin@calabroreporting.com

Ms.Linda Lee Barry(アメリカ)

マサチュセッツ州ブレイントリーに本社を置く Lee & Associates の創立者。法廷速記全般のサービスを行っています。NVRA 会員。リアルタイム技術で進歩しており、ボイス・ライティングでパイオニアです。

http://www/leeassocreporters.com　　e-mail　lleebar@verizon.net

Stenomedia(フランス)

国際経験豊かなステノタイピストと 2 名の自動言語処理の研究者がいます。会社の目標は、最新の科学技術開発成果を速記者にもたらし、リアルタイム反訳能力などに努めることや、効率的で経済性のあるソリューションを速記者に提供し、能力アップやリアルタイムサービスを支援します。

http://www.stenomedia.ovh.org　　e-mail　contact@stenomedia.com

Association Espanola de Estenotipistas Madrid(スペイン)

ステノタイプ（グランジャン）に 30 年間従事してきた非営利教育機関です。

http://www.estenotypiaasociacion.com　　e-mai　　galguerapaz@hotomail.com

(補足)

日本はインテルステノの第 1 回ロンドン会議に関直彦（東京日日新聞社記者）が代理参加しました。その後、1969 年、第 28 回ワルシャワ会議に田鎖源一らがオブザーバー参加し、正規会員となって活動しました。田鎖源一のあとを受けて兼子次生 tsuguo　kaneko が中央委員（現在評議員）、ジャパングループ・プレジデントに就任し、科学委員会委員、教育委員会委員を委嘱されています。

ジャパングループの連絡先は、

〒618-0012　大阪府三島郡島本町高浜 2-22-5

電話・ＦＡＸ　075-962-3342　bxd06051@nifty.com　caneco_290@docomo.ne.jp

振替口座：00190-7-111490　インテルステノジャパングループ

会計担当　津島靖子